保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

事業所名　児童デイサービスあさひ丸戸田　　保護者数（児童数）23　　回収数12　　割合52%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	4	2	0	・狭い感じがする	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	8	4	0	0	・PT,OT等の職員がいると嬉しい	
	③	障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化が適切になされているか	9	3	0	0		
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	10	2	0	0	・短い時間の中で色々としてくれているように思う	
	⑤	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	8	4	0	0	・活動プログラムがわからない	
	⑥	放課後児童クラブや児童館等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	9	2	0		
保護者への説明等	⑦	利用者負担等の説明や支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	12	0	0	0		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12	0	0	0	・帰宅時に少し、お話を聞かせてもらっている	
	⑨	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	3	2	0	・その日の様子を伝えてくれている	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	4	7	0	・連携支援という意味ではあまり	・検討中
	⑪	子どもや保護者からの相談や申し入れ、苦情について、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6	6	0	0		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8	4	0	0		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3	7	2	0	・HPや会報はありませんが連絡ノートに記録してもらえているので十分	・自己評価については今年度よりHP上で公表
	⑭	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	10	2	0	0		
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	7	4	1	0		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	5	2	0	・訓練があるのかわからない	・訓練を実施した際は、全保護者へ通知予定
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	11	1	0	0	・基本的にはそう思っている ・嫌がる時があるが、前より減った	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	11	1	0	0	・有難いと思っている ・良くしてくれているように思える	

事業所における自己評価結果（公表）

公表：　平成　　30年　　3月　　1日

事業所名　児童デイサービスあさひ丸戸田

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	4	・外出することで調整	
	②	職員の配置数は適切である	6	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	1	6		
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している。	4	1		
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向を等を把握し、業務改善につなげている	0	6		・平成29年度より実施
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の開放やホームページ等で公開している	0	10		・平成29年度より実施
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	8		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	2		
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0		
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	1		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1		
	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫されている	10	0		
	⑬	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成している	6	0		
	⑭	支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0		
	⑮	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	5		・翌日の開所前ミーティングにて実施
	⑯	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0		
	⑰	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10	0		
関係機関や保護者との連携	⑱	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画している	3	1		
	⑲	母子保健やこども・子育て支援等の関係者や学校、関係機関と連携した支援を行っている	6	0		
	⑳	就学前に利用していた保育所、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	6		
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	5	0		
	㉒	児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	4		
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	3		
	㉔	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	0	8		
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0		
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	0	3		
保護者への説明責任等	㉗	運営規定、利用者負担等の説明や、支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ている	8	0		
	㉘	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0		
	㉙	父母の会の活動をしたり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	8		
	㉚	子どもや保護者からの相談や申し入れ、苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0		
	㉛	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の除法を子どもや保護者に発信している	0	6		
	㉜	個人情報の取り扱いに十分注意している	10	0		
	㉝	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0		
	㉞	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	10		
非常時等の対応	㉟	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練が実施している	5	0		
	㊱	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行っている	6	0		
	㊲	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10	0		
	㊳	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	2		
	㊴	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	2		
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	1		
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	1	0		